

平成 30 年度 第 3 回開成町子ども・子育て会議 議事録

平成 31 年 2 月 18 日 (月)

14 時～15 時 40 分 開成町民センター中会議室 B

出席委員 小田会長、山岸委員、佐藤委員、露木委員、小林委員、上野委員  
金澤委員、石渡委員、石河委員、矢後委員、井狩委員

事務局 田中子ども・子育て支援室長、頼住

会長

開成町子ども・子育て会議条例第 6 条第 2 項の規定に基づき、全委員  
が出席しておりますので、本会議は成立となります。

今回は、任期最後の会議となります。今回の会議は、第 2 回会議で示  
されたニーズ調査結果等があります。次年度から始まる第 2 期開成町子  
ども・子育て支援事業計画策定に向けて活発な議論となりますようお願い  
いたします。では、主要事業の現況について事務局より説明をお願い  
します。

事務局

事務局説明。(資料 1 に基づき説明)

委員

資料 1 について、統計数字なので、この 1～2 年で保育園と学童保育  
で変化したことについて意見させていただきます。

平成 31 年度に向けて町子育て支援センターは、今年度で終了となり  
ます。保護者から何故終了という疑問もいただくのですが、開成幼稚園  
の 3 年教育がスタートすること、0～1 歳の保育園利用者が非常に増え  
ていることから、支援センター利用者数が減るのではないかとこの町  
の見解もあり、30 年度で終了として最後の 1 年を運営してきました。

特に 1 歳児が非常に多いのは、育児休業を取得され法律改正により期  
間を延長し、この 4 月に入園しようとする方が非常に多くなっていま  
す。

酒田保育園で卒園する子は 43 名に対し、入園は 47 名です。1 歳児  
が非常に多く、3 歳児以上は 0 名で入園できない状況です。0～2 歳ま  
では職員の手厚さが求められ、現在職員の確保が課題となっています。

この計画は 5 年先までですが、正直 5 年先のことがわかりません。  
保育所が希望者全員を受け入れるのは、現時点では難しい、無理ではな  
いかと感じています。

あと学童保育の問題ですが、週 5 日とありますが土曜日も受け入れて  
います。今回、この数字は 4 月 1 日現在ではなく今現在となっています。  
昨年 4 月は、第 1 学童は 65 名、第 2 学童は 47 名、第 3 学童は 40 名、  
第 4 学童は 33 名、合計 185 名入所しています。

	<p>なぜ185名いたのがここまで減る理由は、夏休みを過ぎたためです。保育所は3月に向けて右肩上がり、学童は右肩下がりです。</p> <p>31年度は、約216名の希望者のほかに、委託でない一時保育の子もいます。合わせるともっと多いです。</p> <p>学童保育は、開成小学校は約半分の子どもが利用し、開成南小学校は約3分の1くらいです。開成小学校は子どもの数は減っていますが、学童利用者は非常に増えています。</p> <p>来年度は下校の安全を考え、新1年生は小学校内で実施することになりました。学童の学年配置も異なってきます。このことは教育委員会や学校のご協力を得て実施するまでのところとなりました。</p>
会長	<p>他、委員からの質問、意見等はありませんか。なければ議題（2）について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局説明（資料2に基づき説明）</p>
会長	<p>今回は中間報告なので、自由意見や地区別の集計はとりまとめ中であるということでしょうか。</p>
事務局	<p>その通りです。現在、コンサルに集計依頼し、地区別・年齢別の集計をお願いしています。調査報告書の第1次校正が今週半ばの予定です。事務局で集計作業は実施していません。今日はコンサルから提出された中間報告の数値のみとなっています。</p>
会長	<p>では、今月末にはおおよそがわかるということですね。事務局にお願いですが、このニーズ調査票がどのように今後使用されるのか簡単に説明してください。</p>
事務局	<p>事務局説明。（量の見込みの算出及び事業計画策定までの流れ）</p>
会長	<p>他委員はいかがですか。</p>
委員	<p>働きたい方が増えているなという印象です。日頃、母子保健推進員でお子さんを育てている家庭を訪問する中で感じていたことが数字であらわれた形です。</p> <p>訪問時に「この子1歳になったら預けます。」という声は非常に多い</p>

	<p>です。1歳6か月になると「この子はもう保育園に預けています。平日は仕事して不在ですので、ポストに入れてください。もしくは土日に来てください。」と言われます。</p> <p>母子保健推進員が定数確保できなかつたため、1歳6か月の訪問を中止しています。その裏には1歳6か月は行っても会えないというものがあつたのですが、本当に数字にあらわれたなと感じています。</p>
会長	<p>習い事が小さい年齢も含めて増えているなかで、今後町がどこに力を入れていくのか非常に難しい問題だと思いました。他の委員はいかがですか。</p>
委員	<p>今回、調査票が2通届きました。時間的余裕があつたので2通答えることができましたが、就労している友人にも2通届いたと聞いています。保育園で協力してほしいと言われなければ調査票を流していたと話していた。同じ家に2通となると回収率としてどうかと思いました。</p>
事務局	<p>事務局説明。(未就学児と就学児の住所重複を避けた場合、1000名を下回る状態だつた。そのため、未就学児と就学児別々の調査票が届く家庭がある程度発生してしまつた。)</p>
委員	<p>子ども会も徐々に活動することが困難になり、役員の担い手問題等が起きている。しかし、今回の調査結果をみると、習い事へのニーズが増えていることもあり、子ども会会員の減少につながっているのではないかと感じています。開成町では3自治会くらいだと思うが子ども会が廃会になつたと聞いています。私たちの年代から言えば残念だが、調査結果から状況や考え方の変化をつくづく感じました。</p>
会長	<p>他にはいかがですか。無いようなので、議題(3)について事務局説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局説明。(資料3に基づき説明)</p>
会長	<p>苦情など寄せられていますか。</p>
事務局	<p>特段、行政にも施設にも苦情は寄せられていません。</p>

会長	病児保育についてはよろしいですか。では議題（４）を事務局から説明してください。
事務局	事務局説明。（資料４に基づき説明。）
会長	今までの保育所モナミとモナミこども園は別々のものということで良いですか。
事務局	その通りです。認可外保育所が１つのビルの中に２つあるとご理解ください。
会長	企業主導型保育の監査体制はどうなっていますか。昨年度、東京都等で急な閉鎖により保護者が子の預け先がなくなり困ったことにもなっていたので心配です。
事務局	認可保育所は設置も含め行政の関与がありますが、企業主導型保育は行政の関与がなく児童育成協会にエントリーし認定されることで助成される仕組みです。来年度は質の確保や事業の持続性の検討の上でエントリーが開始されるようです。 監査ですが、児童育成協会が年１回の監査及び抜き打ち監査の実施が行われ結果は公表されます。また神奈川県認可外保育所（私設保育施設）としての監査が年１回実施されます。
会長	では、（４）はこれで終了しますがよろしいですか。（全員、なし） 最後なので石河委員、会議を振り返りいかがですか。
委員	せっかくのアンケートなので大切にしていきたいです。放課後の過ごし方などは家庭類型では全く異なると思うので、今つきつめている最中だと思いますが、しっかり分析していきたい。
会長	井狩委員、いかがですか。
委員	昨日か一昨日の新聞報道で、病児保育の多くが赤字だと報道されました。資料３では利用料金等は示されていましたが、今後の見通しはどうでしょうか。また３か月間の実績ですが、インフルエンザなどの利用もあったと思います。今後の課題について教えていただきたい。

事務局	<p>病児保育は足柄上郡5町で委託しています。補助という形ではなく、しっかりと人員が確保できるよう積算し、かつ委託契約しています。病児保育は国の補助額も低く、その補助額を基準としている場合赤字になることは考えられます。</p>
会長	<p>しっかり他町の方も利用できるPRも必要ですね。利用が少ないからという理由で委託から抜けることがないよう、1町での実施は困難な事業なので周知をしていってください。</p> <p>では、最後に委員の皆様、会議を振り返って若しくは今までを振り返ってご意見をいただければと思います。山岸委員からお願いします。</p>
委員	<p>2年間の任期の中で出産し、引き続き町内で第3子を育てています。町が変わってきていることは肌で感じています。病児保育も広報に登録開始のことが掲載されていて変わったと感じました。人口がどんどん増えてくるので、そのニーズにあった子育て支援をすすめてほしいです。</p>
委員	<p>一主婦の意見を言える機会をいただきありがたかったです。一人目の子育てでは家から出ることもなく、周囲のお母さんから声をかけていただき幼稚園の子育て支援に参加しました。今は駅前子育て支援センターやあそぼう会にもよく参加しています。</p> <p>この会議に出席することで、開成町は住みやすい子育てしやすいと第1子の時よりも感じました。次の会議に出る方も色々な意見を出してほしいと思います。貴重な環境をありがとうございました。</p>
委員	<p>最近、平成元年の話を親にするのですが、昭和から平成になったときに私費で学童保育を建設しました。保育園は先々代からですが社会福祉法人となり4か所を運営することとなりました。学童も4か所に増え、一体何をしてきたのだらうと思います。しかし、今のような保護者の方の意見を聞きますと、とてもうれしく思います。</p> <p>平成元年、学童は24名からスタートし、子どもや親の顔や名前が一致していたのですが、これだけの人数となると親や子にも会えず、本当に情けないです。これでいいのかと日々自分に問いかけながら法人全体をまとめています。</p> <p>先ほども話したとおり、5年先、10年先本当にわからないのです。平成は駆け抜けましたが、次の元号で町の子育て支援、親育てがどのよ</p>

委員	<p>うに変わるのか、特に私にとっては親育てが課題です。皆様から刺激をいただき頑張りたいと思います。</p> <p>開成幼稚園は来年度から3年間教育となり、今までどこにも所属していない方もおり、保護者の悩みなども聞き幼稚園としても更に保護者に寄り添っていかねばならないと感じています。今回も色々な数字があがってきていますが、新しい事業が始まる時に保護者のニーズだけではなく、実際子どもが何を望んでいるのか何を感じているのか置き去りにせず、保護者として子どもとしてどのように関わっていくのか、どういった施設が必要なのか改めて考えていく時期になったと感じています。</p>
委員	<p>相馬委員の後任として出席させていただきました。町は大きく変わったなと感じています。アンケートをみると、お母さんの就労状況も変わって、フルタイムを増やしたいがフルタイムは数値上減っていて、働きたいけど預けられないからフルタイムにできないなども集計からみえてきました。</p> <p>学童は現在小学校4年生までとなっているので、5年生になると一人で過ごすことをさせられないから習い事を増やそうと保護者の間では話題にあがっています。全部、聞こえてくる内容が数字にあらわれたかなと感じました。</p> <p>一つひとつの声をとりあげていくのはとても大変だと思いますが、より多くの意見を回収できる体制を整えていただき、気軽に意見を言えるような開成町であってほしいと思います。お母さんたちが悩んだり困ったりしたことが、ネットやSNSではなく、人がつながり相談できる体制があると良いと思います。</p>
委員	<p>任期途中から参加しましたが、委員の酒田保育園の歴史を聞き、自分の子も幼稚園、保育園にお世話になりました。ここまでの事業拡大はとても大変だったと思います。</p> <p>病児保育など、数年前は考えられないような事業は実施され素晴らしいと思います。</p>
委員	<p>自分自身の子育て期の頃と大きく異なり、開成町は色々な事業を整え子育てしやすい町に変わってきたなと感じています。今回、膨大なアンケートを配布し、親御さんたちが目先のことでなく、保育園や幼稚</p>

	<p>園、学童保育は何歳になったら預けようかなど家族の間で話し合うきっかけになったかなと思います。</p> <p>今回の回答はフルタイム休業中や無業の方が6割を占めているので、回答は、余裕のある方が積極的に出してくれたかなと思います。</p> <p>仕事をしながらお子さんを抱えた方はみなさん大変で、病気のときも看病や仕事を休むなどギリギリの中で2～3人を育てています。そうした人たちの声がもう少し反映できたらよかったかなと思います。</p>
委員	<p>20年ほど前に子育てをしていた頃、このような議論がされているのかわからないけれども、妻から幼稚園に入園させたいからと園にならんで欲しいと前日の夜9時から夫婦2人でならんだ覚えがあります。</p> <p>今、このような議論が行われ、今の親御さんや子どもたちは恵まれているなと感じます。当時は何も考えなかったし、このような議論があったのも知らなかったです。アンケートをされているので、で継続して保育や教育の事業をうまく展開していただきたいです。</p>
委員	<p>委員が先ほどお話された親育てですが、私は今のお母さんたちに対して「幼稚園や保育園に丸投げしないでください。」と教えたいです。「幼稚園の先生に何とかしてほしい。」ではなく、町が保育所たくさん作るのも大事だし、預かって仕事してもらうことも大事だけど「基本的に丸投げするのではないよ。」ということはこのような計画に掲載できればと思います。</p>
委員	<p>地元ではないのですが、委員として縁をいただきありがとうございます。親育ては、小学校も中学校も高校も大学も同じです。大学生でも「こんなことは学校がやってくれるでしょう。」とか大学生の親も「これは学校の責任でしょう。」というのがたくさんあります。</p> <p>学校丸投げ、親育てというよりも、親が先生をいじめたりするので、そのような保護者が子をどうやって育てるかの問題もあります。</p> <p>変化が激しい時代ですが、子育てしやすい町は人口が増える状況です。仙台や富山県の舟橋村などが有名で、距離が離れていても子育てがしっかりできると口コミとなり、人口も増えています。</p> <p>今回、未就学児年齢が増えているのは口コミなど発信媒体で子育てしやすいがあらわれているとおもいます。しかし、増えすぎるとキャパシティから行政も大変だと思います。</p> <p>アンケート結果で小学校高学年になると習い事が増える件ですが、小</p>

会長	<p>学校の生活と異なり、ある意味成長の証といいますか、自分の意思で自分の好みに集まりたいというのもあります。</p> <p>4月当初は親が子どもの場所を確保したいという思いもあるのですが、特に男の子は徐々に自分で抜けていくので、この位の数字は問題ないのではないかと思います。</p> <p>私は、子どものプレイパークや放課後子ども教室などで活動しています。子どもとふれあうこと、お母さんたちと話すこととても楽しいです。その延長線上でこの会議に出席してこられたのかなと思います。</p> <p>今も話で出ていましたが、習い事については、子どもが好きでやっていけばいいのですが、親が勝手に決めてしまうこともあります。また子ども会の衰退も結局は親側の問題で、「水泳だ」「野球だ」と子どもも忙しい状態です。私はプレイパーク活動の中で、子どもの忙しさは本来遊びの中にあるべきだし、実体験で学ぶことが子どもの根っこを育てるものだと考えています。</p> <p>今回、子育て支援としてニーズの中でやらなければならないものもありますが、その中で考えなければならないことが今日のみなさんの最後の話でわかりました。これからの5年の計画策定でも行政はそのことを踏まえて考えていってほしいと思います。</p> <p>議題終了（14時40分）</p>
----	---